飯田市

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館編集部
印刷所
信州印刷KK
松本市中上町353

古瀬原に共同化のきざし

古瀬原集団果樹園地帯への動き

●…「忙しい、苦しい」と云う農業から、楽でゆとりのある農業を私達…●○…は営みたい。五月二十二日「共同化、法人化」の問題について、座…○●…談会を開いた。当日は市の今村農業振興課長をはじめ、市職の小林…●○…前沢、塩沢の各氏、宮川普及員、下平農業委員、小瀬原の高島氏そ…○●…れに公民館長と産業部、編集部が参加して行われた。……●

「えらい手間があるわけじゃない」

る、大豆もつくれば、牛も飼う、にわとりを二〇羽位飼って、豚もいる、それに果樹が少しばかりあって蚕もかって、野菜までやる。百姓でやれることはかたっぱしから手を出して、とてもじゃないがえらくてかなわんわけだ、実際に困っている……」そう云う状態の中から「何とかせにゃ」と云う声が強くなり、さいわい熱心な青年もいることから、果樹だけでも良いから、「古瀬原」を法人化による共同経営でやろうじゃないかと云う気運が高まり、多くの人の賛成を得て「……目下研究段階に来ているわけ」と古瀬原の高島さんは語る。

古瀬原には現在既設の果樹園が六反歩ほどあり、それを中心に集団果樹園地帯が出現されるわけであるが、高島さんは、現在と今後における問題点を次の様に指摘している。「年度を揃えて植え付けた。品種と栽植距離を統一して行きたいこと、推進母体をどうするか（指導者、組織体）出資をどうするか、労力をどうするか、収穫があがるまでの期間をどうするか」

多くの人はこゝまでは考える。只、そのあとで話し合いが行われないのだ、よし話し合いが行われても、実行が伴わないのだ。古瀬原の果樹地帯の実現は話し合い、納得し合い、最早や実行の段階が真近くなっていると云うことに注目したい。

牛一頭で六千五百円の出資配当

「法人化」「農業法人」と云うことが一体どうして云われる様になったのであろうか。「はじめは一戸一法人と云うことで、単に税金を少なくするために行なおうとして来たのだ、要するに脱税法人と云う形で考えられて来たのだが、現在では、共同経営の第一段階と云う意味で考えられる様になって来た」と市の振興課の小林さんは語る。ことのおこりは、徳島県勝浦町の一青年が自分のミカン園経営を有限会社形態にして登記したことからはじまり、今年の四月までに全国で三百五社（農林省調べ）ができ、県下では北信方面に四社がある。ところが農地法からみた場合、違反になるのではないかとうものを岸首相に答申しました。

商品価値の高いものから

農業経営の新しい道

共同化が進む

営視察に行って来た。下平さんは次の様に云っている。「地区の委員会では具体的にはまだゝ研究段階で、農業が曲り角に来ていると云うことはわかるが、打解策として共同化と云う方向へ進めて行くことはいゝと思っている。たゞ共同化と云う場合に経営規模が様々である点に難があるのではないか。その点、旭ケ丘の場合は、開拓地であり、スタートラインが一線であり、発足が順調であったと思う。業体別の共同経営が今の段階では望ましいのではないか」

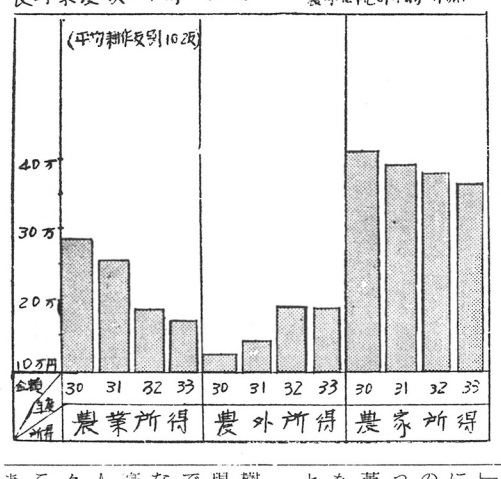
父小林さんは、「旭ケ丘の場合は、牛二頭宛を出資し合い、畜舎は新築し、管理人には給料を払って経営しているが、出資牛一頭につき飼料畑一反歩は、出資者が確保しその栽培を行っている」とのこと即ち六頭出資をすれば、その出資者は六反歩の飼料畑を自分で栽培することになる。「飼料畑一反歩をつくり乳牛一頭を出資して、毎月六千五百円宛の配当が行われているわけで、多い人は六頭も出資しているから約四万円の配当金が毎月入るわけだから一寸たいしたものだ」とも云う。「小県の東部町でも七月から共同酪農を始めることになっている」と下平さんが話された

共同化の進まぬ伊那谷だが……

全国では三百五社ある農業法人も飯田下伊那には一つもない。農業法人が共同化への第一段階であるとするならば、共同化に最終的な狙いがあるわけで、その共同化の動きについてみると、「下久堅の大原で三人の青年が中心になって、法人化の問題を研究し、熱心に相談に来ているし、松尾の鯉の子の生産組合、飯田のおし洞では果樹の共同経営に此の冬の剪定から入っている」と今村振興課長は語る。更に、「下伊那においては我る程度までの共同化は各地で昔から行われているのだが、例えば稚蚕飼育や、共同防除の様に、だがそれ以上に伸びていないのはなぜだろうか。長野県下の調査をしてみると、実態としては下伊那が共同化の進度が一番おくれているだがそのきざしはある様だ」

営農計画をどうすればいゝのか

此の様に各地で共同化、法人化の問題がおこり、農業がその方向へ移って行こうとしている。一言にして云えば、農業が曲り角に来ていると云うことだ、このことについて宮川普及員は「各人が自分の経営が行きづまっていると云う自覚は意識しているのだろうけど本気に経営のことを考えているのかどうかを考えてしまう。それは営農計画表の提出が地区で六拾農家しか出ず、そのうちやゝ完全に近い計画表は数軒しかないことだ。六反歩弱の経営で耕耘機を入れてその消却をどう考えているのか、即ち過剰投資の問題「どうも地区の一般が、人まかせ農業である様な気がする」とするどい批判を加え、更に「地区では共同化より一歩前になすべきことがあるのではないか」と云う、小林さんは「家の労働力はタダ、冬は土方に出る、家で喰べるものだけはつくる。なんとかして喰って行ける。この考え方が一番困る。そしてそれが一番悲惨な実例だ」と云う。では営農計画をどうたてればいゝだろうか。今村振興課長は「従来の多角経営から、専業経営の方向へ持って行く、どれを持って行くかと云うことは長く家の実態をうかんで研究し、少くとも二つか三つの重点部門にしぼり、出来れば地帯別に専門化する。そうすると必然的に共同化と云う方向へ進めることになる」宮川普及員も同様に云う。



増える農外所得 漸減の農家所得

ところで曲り角に来た農業が、どう云う形で現れて来ているか、最近四ケ年間の長野県農家の所得をみると、別表グラフの様になるのだが、三〇年を頂点に、農家のふところ具合はだんゞゝと悪くなって来ている。まず農業所得は、四年間に一〇万円も少くなり、反面農外所得（兼業）は年々増加している。然し、農外所得は増加しているものゝ、農業所得漸減に追いつけず、結局農家所得は年々の漸減をたどっている。この実態からみて、長野県の農家は農業だけでは生計がなりたゝないと云うことがいえる。これが平均耕作反別一町二畝においてゞあるから、竜丘地区の平均耕作反別七反歩弱においては、推して知るべしである。

こうした現在の農業経営をどう打解して行くかと云う時に、法人化共同化と云うことが強く叫ばれて来たのである。私達農民が今どう考え、どう経営を改善して行ったら良いのだろうか。「日本の農業」と云う大きな流れと共に個々の農家における指導方針などをきいてみよう。

そこに共同経営が待っている

今村農業振興課長は、「民意が盛りあがってからやっていたわけであるが、法人化の問題は今度法律が改正されるとともに、新しい指導方針をたてゝやって行かなければならない。農協、農業委員会の仕事が重要になって来ると思う」小林さんは「好むと好まざるとにかゝわらず、商品価値の高いものほど共同化して行かなくてはやって行けなくなると思う。社会改革、思想改革、即ち頭の切りかえも考えて行かなくてはならない」と云う。

古瀬原に共同経営による集団果樹園地帯が出現しようとしている現在、それは新しい農業への先駆であるとともに、多くの問題をになって、おしゝまれて行くのだ高島さんは更にこう云った。「個人の経済を理想として、実行は除々にして行く。困難な段階を通りしてこそ、はじめてそこに楽があると云うことを、私達は忘れてはならない。」

解説

基本問題とは

こゝ一、二年前から、農業基本法とか農業基本問題という言葉を聞く様になりました。

ことのおこりは、農家の生活水準や所得がほかの産業に働く人たちにくらべて低くなりその差は年とともに拡大しているからです。

そこで、どうしてこうなったのか新しい角度から経営、価格などの諸問題をいろ〳〵の面から調査を行い、その上で基本的な農業施策を立てようというのです。

この調査会は昨年の七月政府機関として発足し一年ちかく農業の基本問題について調査した結果を「農業の基本問題と基本対策」と農林省で横ヤリを入れたことから、農業法人は一躍世間で注目する様になって来たのである。

ところで農業委員会では、この春、千葉県旭ケ丘へ酪農の共同経営視察に行って来た。下平さんは次の様に云っている。「地区の委員会では具体的にはまだゝ研究段階で、農業が曲り角に来ていると云うことはわかるが、打解策として共同化と云う方向へ進めて行くことはいゝと思っている。たゞ共同化と云う場合に経営規模が様々である点に難があるのではないか。その点、旭ケ丘の場合は、開拓地であり、スタートラインが一線であり、発足が順調であったと思う。業体別の共同経営が今の段階では望ましいのではないか」

父小林さんは、「旭ケ丘の場合は、牛二頭宛を出資し合い、畜舎は新築し、管理人には給料を払って経営しているが、出資牛一頭につき飼料畑一反歩は、出資者が確保しその栽培を行っている」とのこと即ち六頭出資をすれば、その出資者は六反歩の飼料畑を自分で栽培することになる。「飼料畑一反歩をつくり乳牛一頭を出資して、毎月六千五百円宛の配当が行われているわけで、多い人は六頭も出資しているから約四万円の配当金が毎月入るわけだから一寸たいしたものだ」とも云う。「小県の東部町でも七月から共同酪農を始めることになっている」と下平さんが話された

共同化の進まぬ伊那谷だが……

全国では三百五社ある農業法人も飯田下伊那には一つもない。農業法人が共同化への第一段階であるとするならば、共同化に最終的な狙いがあるわけで、その共同化の動きについてみると、「下久堅の大原で三人の青年が中心になって、法人化の問題を研究し、熱心に相談に来ているし、松尾の鯉の子の生産組合、飯田のおし洞では果樹の共同経営に此の冬の剪定から入っている」と今村振興課長は語る。更に、「下伊那においては我る程度までの共同化は各地で昔から行われているのだが、例えば稚蚕飼育や、共同防除の様に、だがそれ以上に伸びていないのはなぜだろうか。長野県下の調査をしてみると、実態としては下伊那が共同化の進度が一番おくれているだがそのきざしはある様だ」

営農計画をどうすればいゝのか

此の様に各地で共同化、法人化の問題がおこり、農業がその方向へ移って行こうとしている。一言にして云えば、農業が曲り角に来ていると云うことだ、このことについて宮川普及員は「各人が自分の経営が行きづまっていると云う自覚は意識しているのだろうけど本気に経営のことを考えているのかどうかを考えてしまう。それは営農計画表の提出が地区で六拾農家しか出ず、そのうちやゝ完全に近い計画表は数軒しかないことだ。六反歩弱の経営で耕耘機を入れてその消却をどう考えているのか、即ち過剰投資の問題「どうも地区の一般が、人まかせ農業である様な気がする」とするどい批判を加え、更に「地区では共同化より一歩前になすべきことがあるのではないか」と云う、小林さんは「家の労働力はタダ、冬は土方に出る、家で喰べるものだけはつくる。なんとかして喰って行ける。この考え方が一番困る。そしてそれが一番悲惨な実例だ」と云う。では営農計画をどうたてればいゝだろうか。今村振興課長は「従来の多角経営から、専業経営の方向へ持って行く、どれを持って行くかと云うことは長く家の実態をうかんで研究し、少くとも二つか三つの重点部門にしぼり、出来れば地帯別に専門化する。そうすると必然的に共同化と云う方向へ進めることになる」宮川普及員も同様に云う。

増える農外所得 漸減の農家所得

ところで曲り角に来た農業が、どう云う形で現れて来ているか、最近四ケ年間の長野県農家の所得をみると、別表グラフの様になるのだが、三〇年を頂点に、農家のふところ具合はだんゞゝと悪くなって来ている。まず農業所得は、四年間に一〇万円も少くなり、反面農外所得（兼業）は年々増加している。然し、農外所得は増加しているものゝ、農業所得漸減に追いつけず、結局農家所得は年々の漸減をたどっている。この実態からみて、長野県の農家は農業だけでは生計がなりたゝないと云うことがいえる。これが平均耕作反別一町二畝においてゞあるから、竜丘地区の平均耕作反別七反歩弱においては、推して知るべしである。

こうした現在の農業経営をどう打解して行くかと云う時に、法人化共同化と云うことが強く叫ばれて来たのである。私達農民が今どう考え、どう経営を改善して行ったら良いのだろうか。「日本の農業」と云う大きな流れと共に個々の農家における指導方針などをきいてみよう。

そこに共同経営が待っている

今村農業振興課長は、「民意が盛りあがってからやっていたわけであるが、法人化の問題は今度法律が改正されるとともに、新しい指導方針をたてゝやって行かなければならない。農協、農業委員会の仕事が重要になって来ると思う」小林さんは「好むと好まざるとにかゝわらず、商品価値の高いものほど共同化して行かなくてはやって行けなくなると思う。社会改革、思想改革、即ち頭の切りかえも考えて行かなくてはならない」と云う。

古瀬原に共同経営による集団果樹園地帯が出現しようとしている現在、それは新しい農業への先駆であるとともに、多くの問題をになって、おしゝまれて行くのだ高島さんは更にこう云った。「個人の経済を理想として、実行は除々にして行く。困難な段階を通りしてこそ、はじめてそこに楽があると云うことを、私達は忘れてはならない。」

論説

基本対策とは

それは、曲り角にきている農業に対してどんな基本対策を示しているかといゝますと、農民の所得を他の産業に働く人たちと同じようにふやすこと、農業の生産性を高めること、農業の構造を改善することの三つに重点をおく必要があるとしております。そしてこの三つの方面に合った農業政策として

1、所得政策

所得の均衡といっても、他の産業のどれと比べるかが問題で、いきなり都市勤労者の所得と農業所得とのつり合いを考えるのは無理だから、町村の勤労者を対象にすること、ついで農産物の価格政策は長い目でみて需要を無視したものであってはならないとしています。

2、生産政策

単に増産ということでなく需給の見通しを考え、さらに貿易自由化の傾向その他にも対処して生産性の向上におゝべきであると云っています。

3、構造政策

第三は農業の仕組を変えることです。これは日本農業の特質とされている零細の農耕と零細な土地所有を、どのように改善したら「自立可能な農業経営」ができ、また農業だけで文化生活が営むことができるかと云うことです。

農委の選挙はこれでよいか

一

農業が曲り角に来たと云われる。この言葉は、不景気だった養蚕界の立ち上りを見た現在の養蚕地帯の農民にはぴったり来ないかも知れないが、政府の報する、所得倍増論、産業、経済等の白書からすれば第一産業である農業が、工業に比べていかに遅れ、今後もその差を一層拡げる事を聞く時孤立化された伊那谷でも曲り角に立つ日本農業を改めて意識しなければならない。

自由貿易、そうした政策の上からも世界農業に立打ちする日は遠くないことだ。

二

そうした転換期のきざしとして、二男三男はむろん、長男も村を離れ、或る程度の耕地を有する青年学、高校の卒業生の行き先を見て云える。やがて農村の労働力の不足が目立ち、自衛隊の動員を飯田でも仰がなくてはならないかも知れない。

経営の合理化は、労働生産性の向上にかゝって来るとすると、農業の機械化から共同化法人化へ踏切る日も遠くない。私達はもっと農業のあり方に関心を持ち勉強しなくてはならない。

自分達の進む道、生きる道はやはり自分達で開拓しない以上誰も考えてくれないであろう。

三

幸にも今年は去る七月一五日に農業委員の改選があり、私達に考える余裕を与えてくれた。一体農業の振興はこれで良いのか、一歩或は二歩前進するために農業委員への関心は最大限に盛り上るべきであった。

このような全体の流れの中で当地区が選挙に持ち込まれたことは何と云っても良かった。松尾五名竜丘五名の中し合せで無投票という不合理から脱却出来たことは成功であった。

なぜなれば、選挙を通じ農民は少なからず、農業に対して反省が加えられたからである。

しかしこの選挙が私達にとってもっとも身近かな選挙にもかゝわらず、今までと変らない形で終始おわったことは残念だ。

農業委員がどんな使命を持ち何をするか、それには誰が適当な人物か、真剣に投票されたか疑問でならないからだ。

部落ですいせんし戸別訪問を行い、辻番までやった形は、民主的な合理的な選挙とは云えない。供応や売収がなかったことは幸いだが、昨年の苦い体験が無にならなかったのではないだろうか。

投票率も良く、地区から立候補した人が全員当選出来て良かったとかたずけてしまう前にもう一度考えなおして見る必要があろう。

四

中選挙区と云うやり方に問題はないでもないが、誰が立候補したのか地区内数ケ所の掲示板に発表しただけでは無理だ。もっと有線を利用して、有権者の意識を高揚することが大切だ。

候補者も自分の考えを主張するためにも堂々と発表し、部落総動員の選挙から一刻も早く脱却すべきだった。一方民主団体である青年会、農民組合、婦人会がノータッチで終ったことも大きな反省の一つである民主化を唱え、生活の向上を唱えるのであったならば、こうした機会にPRをし本物をとらえたいものだ。

▲みなさん暑中御伺い申しあげます。やぶ蚊も大分発生しちくりちくりとやられる今日此頃環境衛生も怠りなくやっていたゞきたいものだ。でも館報のやぶ蚊だけは相変らず可愛がって下さいな。だがこの猛暑の中で誰の体も大分弱っています、公民館と有線が協力して毎朝行っているラジオ体操をやっていますか、油断をすると恐しい病気にかかります。

農繁期と云うことでこまかさないで家中揃って体操をやってみたらどうですか。そうして健全な精神を育てたい。

「健全な体に健全な思想が宿る」安保反対のデモに行くにしても、またそれを防ぐ警官になるにも。

▲混沌とした社会情勢の中で強行な反対を押し切って安保条約が批准されてから二ケ月を過ぎた。割り切る事が出来ない大きな矛盾を感じるのも編集子一人ではないと思う。政治史上未曾有のあの騒ぎも今や社会から忘れ去られようとしている。それで良いだろうか。

今後の政局の動きに耳を傾けると共に正しい批判の出来るよう公民館を主体に政治学習を行うべく望みたい。

▲今年の養蚕も此のところ好況の波にのって好相場でスタートを切った。養蚕家にとっては非常に嬉しい事実ではあるが楽観は許されないと思う。繭の争奪も例年になく少なかった。そのゆえんは農協に体質改善をすべき段階に来ていると思う。農民はあく迄も団結して天竜社を育てると共に理事者もその点真剣に考えて欲しい。農民の利益のために。

生活を楽しくするために
新しい人間の発見

公民館で 地域学級を開設

◇……竜丘公民館では今年の基本的な事業方針として地域学級の推進を決め、先の六……◇
◇……月役員会に於て研究討議が加えられ七月一日時又を皮切りに学級が始められた……◇
◇……地域学級とはどんなものか、こゝに解説し皆さんに紹介する。……◇

地域学級とは

地域学級は分館を単位に映画や講演その他の方法でみんなが話し合い、考え合い実行し合って私達の生活を少しずつでも豊かにしようと計画した私達の学級です。

地域学級は、皆なが集まって話すことから始められる。「人接すれば情を生ずる」で皆が一そう親しくなり集団生活の好ましい基礎となり、お互に良い点を認めあい人格を尊重し合うようになる。この学級は身のまわりの身近かな問題を自由に取り上げることができ、実生活に即した物の考え方や物事に対する関心が深まる。

また他人をねたみ陰口など云う事は地域の障害であることがわかり社会が明るくなり、時代にふさわしい生活態度が身につき今までであきらめていたことがみんなの力でできるようになる。

そうして問題を発見したり解決したり知識や技術を身につけるには共同の力がいかに大きなものであるかがわかってくると同時に全く新しい「人間の発見」があり、その発見が「私」という人間をひろげ高める。

まず話し合いから

毎日の生活が少しでも明るく楽しくなったり、豊かになって行くことは社会が良くなって行くことであるが、社会が良くならなければ私達個人の生活は良くならない。私達の住んでいる社会は大きいが一番身近かな一番大切な社会は部落であり、組合である。こうした私達を取りまく社会が私達を支えているのであるから、この私達が住む地域の青年も、婦人も、老人も、子供もみんなが力を合さなければ新しい合理的な楽しい社会は築かれない。

そこでこうした人達みんなが話し合ったり、勉強したり、リェクレイションをしたりして、気楽に、楽しい雰囲気の中で生活の問題や社会の問題をとりあげることが出いときれ、地域学級が進められるわけだ。話し合いがくり返され、問題意識が高められ、一歩〜実践に移される時、今までの古い社会から、皆なが考えた新しい社会の生活が始められよう。

またそれぞれの地域で出た問題は村から町からと集まりやがては、日本を変えて行くものであろう。

竜丘公民館ではこの地域学級を今年の大きな仕事として取上げ六月の役員会で研究がされた結果、今年はそれぞれの分館が中心となって、青年会、婦人会が協力し始めることになった。

その第一回として七月一日より五日まで映画「みんなでつくる公民館」「父の座、母の座」「段々畑の人々」を鑑賞し、そのあと話し合いがもたれた。

また桐林では近日中に常会単位でこの学級が開かれることになっておりその成果が注目されている。

河井主事談

学級というので何だかむづかしい気がしたり話し合いがあって何か話せと云われたりしては困ると思ったりして出席者が少なかったが話しているうちに楽しくなり或る人は「何だか初めて少し話し合いをすると云うのでどんなことをするのかと見ていたら自分の考えていたようなむづかしいことではこゝ指名もされませんので上手にしゃべらなくても気の付いたことを云えば良いし、他人の意見も聞けて楽しかった。この位なら今後も是非続けてほしい。映画は内容も大変よいしおもしろかった。」と云っていた。少しずつ慣れてみんなが気楽に話し合えて私たちの毎日の生活が少しずつでも豊かになればうれしいと思います。

次からは時期や会場、映画の内容等もみんなと話し合って一番良い時に計画したいと思っています。

写真は時又分館での話し合い

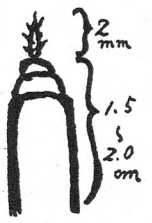
幼穂形成期の診断と穂肥

一口に幼穂形成期と言ってもわかったようでわからないのが実情でないでしょうか、稲作上重要な時期であり多くの肥培管理が幼穂形成期に関係していますから、幼穂形成期をよく知ることが大切です品種によっても違うが、大体出穂前二十四、五日に相当しますが出穂期の予測が困難なので次のような診断をします。

親穂に相当する茎（主幹）の根元を押えてみると丸味をおびて硬くなり節が少し伸びていますからこれを抜取りカミソリの刃で縦に割ってみると図のように節が一、五〜二糎くらい伸び、その先に筆の穂先のような幼穂が二糎くらいに伸びております。これが幼穂形成期です。しかし晩生種を早植えしたものでは、下位の節がかなり伸びても穂が伸びない場合があるので節の長さでなく、幼穂の長さが二糎に伸びているかどうかよく見て下さい。

親茎以外のものはその後四〜六日のうちに幼穂が形成されると見てよいでしょう。

窒素肥料を穂肥として施して効果のある時期は、二回あり、第一回は幼穂形成期で、この時期は、有効茎数が増し、穂が大きくなる等の効果があります。尚この時期の追肥は上位の節は伸るが、下位の節は伸びないので倒伏の原因となることは少いが時期が早かったり量が多かったりすれば倒伏します次は穂バラミ期から出穂期の頃ですこれは主に稔実をよくする効果があります。したがって幼穂形成期には、まだ濃緑色で栄養の衰えたものに対しては、穂バラミ期か出穂期に穂肥を施せばよいのでしょうどの位施すかゞ問題ですが速効性の硫安、尿素、塩安を使うのがよいのですが、稲や、田の状態により異りますが、窒素成分で、三〇〇匁〜四〇〇匁が限度です。それ以上施すと、逆効果になりますから注意して下さい。特に出穂期頃の追肥には量を稍々少なくするようにすべきです。



季節の農事メモ

溶過燐について

これは新肥料といっても、もう少し古いのですが、良い肥料でありこれから使用量が増すと思うので紹介しておきます。

燐酸の追肥は必要ありませんが、加里は秋落のするような田では塩加で一メ位窒素肥料と同時に施すのが効果的です。

今までの過燐酸石灰や熔性燐肥のもつ欠点を補い、両者の長所を生かして作られた燐酸肥料です。成分は遅効性の〆熔性燐酸（熔性燐肥の燐酸と同型）一九％。速効性の水溶性燐酸（過燐酸石灰の燐酸と同型）五％、熔性若土五％を含むので、丁度過石と熔燐を配合したものと同じような肥料です。灰色のサラ〜した粉状でPH六内外の弱酸性で吸湿性も少く、硫安、塩安との配合も可能です。施肥方法は全く溶燐や過石と同じで発芽障害をおこすこともありません。価格は過石より僅に高い程度です。

稲の二化メイ虫防除

今年もメイ虫防除の時期がやって来ました。今年は暖冬のため虫の越冬が多く蛾の量も昨年の一倍〜三倍、日によっては五倍も多く飛んでおります。昨年以上に共同防除による防除の徹底をお願いします。

ホリドールは効果も高いが法的な制約があり、一定期間内に共同防除で行わなければなりません。例年の事ですが充分注意をお願いします。

使用量はホリドール乳剤は反当二〇〇〇倍液（水一斗に二八CC）を八斗、ダイヤジノン乳剤は四〇〇倍液（水一斗に四五CC）を、やはり八斗散布を厳守して下さいそうすると原液はホリドール一、五本、ダイヤジノン三、五本を要する事になりますが、高濃度にして原液の所定量だけを散布すればよいと言う考え方で行うと効果も劣りますから、葉や茎に充分薬のかゝるよう八斗以上かける事を特にお願いします。

EPN乳剤でも同様の効果があります。散布濃度及散布量はホリドールと同です。

ダイヤジノン、EPNはホリドールと異り無届個人防除が出来ますが、同じ有機燐剤ですから危害防止のためにも、又防除の徹底を期するためにも共同防除でやるようにして下さい。

春繭八トン共同販売

総出荷量は昨年並

近年天竜社の低繭価が続いたために、地区内でも抜売及び他蚕種の進出がめだっていたが、農協でも春繭の一部を天竜社外の業者に転売するという異例の処置に踏み切った。

その根拠は、天竜社が低繭価であること、農協への供繭量を増大して農協の運営をよくすること、他蚕種の進出を喰い止めて稚蚕飼育の維持発展を計る、天竜社の経営合理化の促進を求める等があげられるが、その反面、商業資本に対抗する農民の協同組織である。天竜社を磨りたてゝいく立場にある農協役員会が、その反対ともいえる態度をとったということ、結果的に抜売を公認したかたちになったことについて批判の声もある

春繭の全供繭量は、四四、〇八七・三kg（一一、七五六・六一貫）うち天竜社三五、九二七・五kg（九五八〇・六貫）市郡内の業者及北信生糸八、一五九・八kg（二、一七六貫）となっているが、総掃立量が約一三、〇〇〇gであり相当量が他へ流れたものと農協ではみている。

供繭量は、昨年に比べて殆んど同量であり、豊作その他の条件を考へれば実質的に減少しているので、結果的には始めの予想通りにいかなかったということがいえる。

天竜社外転売分の決算は七月二十四日にされたが、天竜社仮渡しとの差は約三〇〇円である。

農協では天竜社の低繭価の理由として、終転処理費（時又工場、阿南工場その他）労務管理費等をあげ、現在人員整理、その他の合理化が進んでいるので、二、三年後には、大差がなくなるといっている。

いずれにしても、今度の方法は市郡下でも例をみないことであり関係方面に投げかけた波紋は大きく、今後夏秋春繭についてのこの処理が注目されている。

国道のその後

前号でお知らせした、時又に建設事務所長が出張して来て説明会を開く件については、農繁期であるからとの理由で延期されている三五年度の土地交渉は大部分は済んだが少し問題があって未だ全部は終っていない（現道まで）

その後の法線の決定については三六年度予算が九月迄に成案することになっているので、長さは分らないが大体の方向はこの秋には決定されるものと思われる。

今後の問題については一層の地区民の協力が要望されている。

今年も文化祭を実施

公民館役員会で秋の文化祭について検討した結果、実施することに決定した。内容については、展示会、青年演劇は行う予定であるがその他については目下研究中である。

着工迫る竜西一貫水路

竜丘以来十余年を経た竜西一貫水路も三五年度実施設計の段階に入り、愈々当地区への着工が目前に迫ってきた。

竜丘地区より川路村までの県営分は、三六年度着工、三八年度工事終了が予定されており、工事々務所を飯田乃至竜丘におくことが考慮されている。

先般来水便の比較的悪い地域が拠出拒否を行って問題になっている事務費一部負担については、従来は村費負担をしていたが、三四年度より市負担が竜丘分として一八万円、残額反当四二円を受益者が負担することになっている。

大局的にみれば、地区に肥料成分を多く含んだ用水が大量に導入されることは、水田に利用するか否かは別として、今後農業その他の発展のためにも異論のないところではあるが、着工当時の主穀偏重農業、食糧生産の時代が変って米への依存度が減少する見通しが強い現在、一貫水路導入に附随する竜丘地区内約四〇町歩の開田計画と、現在の水田地帯その他の受益地に対する工事負担金について今後相当の論議が交されるものと予測される。

現在、開田計画を練り直して、牧草、果樹、蔬菜等の灌漑栽培を考えるべきだとの声もあがっている。

負担金については、国営分は、完成より一〇ケ年年賦返済（但し受益の範囲内）地元負担金八割を低利資金借入、五年据置一五ケ年返済となっている。

尚、略完工した他地区の状況は工事以前、又はその過程に於ては種々の問題があったが、現在ではその価値を認めない人はないと、地区選出の理事は語っている。

飼料研究会

酪青で

去る七月二〇日、農協本所に於て、酪農組合青年部の主催による飼料研究会が約三〇名の出席を得て開催された。

講師は、南酪竜峡支部の北沢技師で、主として、本格的栽培の段階に入って二年目を迎えた牧草栽培法の再検討、各種濃厚飼料の経済的価値についての研究がなされた。

炎暑の労働の疲れを克服して、和やかな雰囲気のうちに夜遅くまで熱心に研究がされたが、今後酪農経営にその効果があらわされることが期待される。

× × ×

第二回南酪竜峡地区牧草共進会が、七月七日、八日に行なわれた竜丘地区から、駄科、下平勲資氏が、優良賞、桐林、原康二氏が努力賞を得た。

何れも、イタリアン、オーチャード、赤クローバー、ラジノクローバーの四種混播である。

第四区投票率九〇・六％

農委選挙、好成績に終る

農民の代表として農政面や農業振興、農地関係等の仕事をする重要な任務をもつ飯田市の農業委員選挙は十五日、中選挙区制五区のうち三選挙区十三投票所で行われ総投票率八九・〇％、第四区投票率九〇・六％の好成績で二十六人の候補者中二十二人が当選した。

そこで第四区（松尾、竜丘）の関係の分について見ると次の通りである（定員十人――候補者十一人）

個人別得票数

○原　康次　四四四票
新井喜八　三五九〃
木下　守　三四二〃
○関島広三　三二五〃
○塚平暁雄　三一一〃
○下平才介　三〇七〃
宮沢定雄　三〇〇〃
○中島正三　二九六〃
平沢利雄　二九五〃
飯野実雄　二四三〃
（○印は竜丘地区当選者）

投票所別投票率

十七投票所（上川路）　九六・六％
十八〃（時又、長野原）　九一・七％
十九〃（桐林）　九〇・一％
二十〃（駄科）　九三・三％

声

血圧検診について

毎月血圧検診の日がくると今月はどうだろうかと思い不安な気持となる、こんなにまでしてみてもらはなくても、と思うがもし中気にでもなったらと思うと足が向く。そこでこの血圧検診についてであるが、それは以前は各区に廻って来て検診をしてくれたのが、どのような訳だか近頃は竜丘では市役所の一ケ所のみでやるだけになってしまった、血圧を測ってもらう人の多くは年寄であるので遠くなれば自然に足が遠くなってしまう農繁期であるこの頃では少しでも家の手伝いをと思えば尚更だ、一人でも多くの人の血圧を測ってその対策をたてるのか、又はお役目仕事でやるのか、一ケ所測定となったその真意を知りたい、大きな機械をもち歩くのではないから、先の短い人生を楽しくすごせるよう一段の御理解を。（男　65才）

ミサイル号
ハンドトラクター
ホンダの耕耘機
牧内靖幸
農機具店
松尾代田TEL2170
有線　57の3

ホンダスーパー
カブ号50cc
丸石自転車
特約店
下平自転車店
電話（龍丘）118
有線　7〜2

ナショナルテレビ
洗濯機
岡田ラジオ商会
TEL（龍丘）53
有線　7〜10番

新安保反対地区の動き

生活に追われ関心うすい

青年会では政治学習

多くの反対をおしきって、とうとう新安保は六月十九日自然成立をしその効力が発生することになった。これほどあらゆる階層をつらねての国民運動として盛り上りを見せたことはない。中央では連日激しい国会請願デモがくりかえされており、職場では抗議ストがおこなわれるなど積極的な行動に立ち上っていたが、農繁期で忙がしい農村では忙がしさにおわれ、割合に無関心であったし、盛り上りもほとんどなかったのが実状だった。しかし政治にたいする関心は相当高まっており、わからないと云うようなことをいいながらも多くのいきどおりを持っていた。これが声なき声なるものの実状であった。竜丘の地区内で、安保の問題はどう考えられていたか組織を持った団体ではどう取組みがされて来たかということだが。

はじめ安保はどうだと云う様なことを聞いても「俺達の知ったことじゃない」と云うようなことで割合に関心がなかったが、五月十九日、二十日の国会のあの強行採決が行われてから、日増しに激しくなる斗争に緊迫した空気がラジオや新聞を通じて見聞きすることで安保と国会のなりゆきへの関心はかなり高まって来て、集会の折や父野良でも人々の話題になって来ていた。条約の云々よりもやっぱし、国会のことや、岸さん云々と云うようなことにあり、非民主的な手段についての憤りや、不満に声が集約されていた。父安保を理解しようと意欲も高まって来て、公民館などで研究会を開いてほしいと云うような声も一部に出て来ていたとゆう、この点で青年会では、安保についての学習活動がされており、五月十五日には信大の栗本勉教授を招いて、安保問題を中心とした青年の集いが開かれている。父会員を対象にして世論調査をしておりそれによると約過半数の会員が反対の意志表示をしている、しかし地区共斗会議中心となって行動を盛り上げてゆかなければならないのに集会への参加がたいへん少なかった。四月二十九日には地区の行動を組織しようと地区共斗会議が結成された。一人でも多くの地区の人達に安保問題を理解してもらい、行動に多くの人達が参加するようよびかけや、署名運動が忙がしい中を進められて来た。父国会請願には二回代表を送り地区からの署名をたずさえて国会請願をおこなって来ている。六月四日地区としてはじめての抗議集会が開かれたが出席者少くあまり盛り上りは見られなかった。婦人層はどうだったかに注目すべきだが。新聞やラジオからもとかく忙がしさに遠ざかってしまっている事が多いことなどであまり関心を示していないのが多かった。

組織を通じても具体的には何もなされていなかったし共斗会議のよびかけに対しても逃げ腰のような点が感じられた。公民館では各政党代表者を招いての座談会を計画したが、講師の都合で出来なかった。ともかく積極的なる行動や大きな盛り上りは見られなかったのが、政治への関心は非常に高まって来ている。

龍丘地区消防機動力変る

今年はたいへん火災の多い年といわれているが、すでに地区内に於ては二件もの火災が発生している。現在竜丘地区には、自動車一台、三輪車三台、可搬一台が機動力であるがしかし、いずれも老朽して故障がたえないと云うのが実状で、上川路の自動車はすでに廃車と云うことにもなって、道も悪いし、地形的にももっと実状に応じた機動力の整備充実の必要性がいわれて来ている。消防自動車は見栄や練習車ではない。火災に際して速かに消火出来る機能を有している事が大切なのである。飯田市消防団では団活動の合理化を目的としての機構改革がされて来ているがこれと相俟って機動力の整備充実が進められている。これでいくと竜丘地区に配置される機動力は、自動車一台、三輪車一台、可搬五台となっており、来年度には可搬二台が配置される事にすでに決定されているが、まだこの機動車の配置については決まっていない。横井分団長は「地区内の実状を充分検討して見て今年度中には配置の決定はしたい」と云っている。市の現況からしても、まだ二～三年後になると思われる。なお来年度中に地区内に設置される設備は可搬二台の他、車庫、貯水池などで、約二十四万円位の地元負担が必要とされる。

共同炊事の推進にあたって

農業改良普及員　宮川技師

最近各地で共同炊事が行なわれるようになってきましたが、これは農繁期に婦人の炊事労働の軽減により農作業の能率を高めると共、激しい労働に対処するために農繁期こそ、多くの栄養が望まれるにかゝわらず、逆に粗雑になっている農家の食生活を改善するために、非常によいことだと考えますが、過日近隣で行なっている状況を視察し農家といろ〳〵懇談しましたのですでに関心を持っておられる方もあるでしょうし、又今後大いに研究をしていたゞきたいと思い、その概要を紹介しておきます。

近隣では、伊賀良四ケ所、松尾下久堅各一ケ所で行なっており伊賀良三日市場ではすでに三年になります。他は今春から始めた所です。

施設は立派な炊事場を独立して作った所もあり、父農家の一隅を利用して殆ど施設費を使わない所もあります。

共同炊事を行う時期は、春蚕田植期、秋蚕期、稲刈り麦播期に各一ケ月程度づゝです。

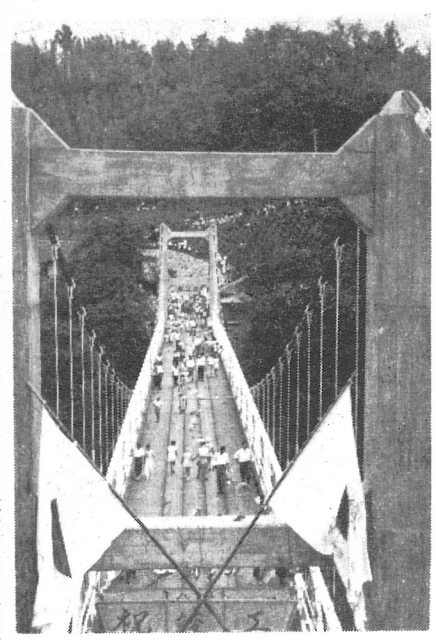
参加戸数及び人員は、十二戸～十五戸で、五〇～七〇名程度、炊事婦は専任一～二人ですが、炊婦一人当り五十名程度が適正のようです。必要経費、主食は各自で作り、副食のみを共同炊事で行なっております。副食は汁と他に二品程の副食がつきます。薪、野菜、味噌等は交替で出し、購入品だけで一人一日（三食）十五～十六円となっております。炊事婦の賃金を含め、現金支出は一日一人二十円～二十三円程度となります。これを見て多いと思われる方と、安いと思われる方とあると思いますが、三日市場で共同炊事を始める前に家計簿を調べた結果、副食費の現金支出は十六円～二十六円を基準に献立を作って始めたそうです。皆さんの家計簿からもどんな数字が出るか計算してみて下さい。

共同炊事について農家の意見

1、主婦の炊事労働が軽減された（肉体的にも精神的にも）
2、農業の能率が上った（雇傭労働の節減ができた）
3、腹もちがよくなり、菓子等の節約は勿論、主食の量も幾分少なくなった。
4、疲労、肌荒が少なくなった
5、食事に楽しみができると共に主婦が調理に関心をもつようになった。
6、副食の量は充分である。
7、栄養の必要性は聞いたゞけでは駄目で、実際食べて見てその必要性を痛感した。

農家の主人も主婦も非常に喜んでおり。できれば冬期以外全期やりたい程だと口を揃えて言っておりました。良い点ばかりなので、何か不都合な点はないかと、いろいろ聞いてみたが、それは徒労でした。たゞ野菜の計画栽培をしてなかったので、種類や時期で片寄ってしまったから、作付について研究をしたいという点くらいなものでした

南原橋竣工なる



【容姿一変の南原橋】

兼ねてより一八〇〇万円で工事中であった南原橋が立派に竣工し去る十日市長を始め関係者多数の列席のもとに竣工祝いを兼ねて渡初め式が午後一時より盛大に開かれた。

式終了後駄科中平良生さん宅三夫婦を先頭に渡り初めが行なわれ見物人約一千人で橋の上はごった返した。夜は駄科商工会主催の演芸会があり賑やかだった渡り初めの幕を閉じた。立派な橋が出来、対岸の文化、産業、経済の発展に寄与するものは大であると思う。

夏の衛生

赤痢をださないよう

のみ水に注意

皆さん父赤痢の発生し易い夏がやってまいりました。赤痢は消化器系の伝染病であり、口から飲食物と共に入り発病する病気です。この病気は予防注射はなくお互に気をつけてゆくより仕方がありませんので日常生活に注意して今年は一人の発生もないように致しましょう。

五月から六月にかけて、養蚕院及び伊賀良地区で発生をしております。竜丘地区では今の所出ておりませんが年々の発生状況を表に致しますと左の通りです。

以上のように年々少なくなっておりますが、川上で発生しており油断は出来ませんので次の事に注意して下さい。

1、夏は特にビタミン不足なり、食欲不振又は、体が疲労致しますので新鮮な果物、野菜など充分とって下さい。
2、胃腸を整え、睡眠不足にならないように常に体に抵抗力をつけておきましょう。
3、生水を飲まないように、特に川水を使用している方は厳守して下さい。
4、用便後は手洗いはていねいに出来れば消毒液を使用すれば完全です。（クレゾール液）
5、子供さんには水泳など長くさせないように、お腹を冷さないため寝冷にも注意して下さい。
6、下痢があったらすぐ医師の診断を受けて下さい。

時又駐在所へ

酒井平氏

時又駐在所の駐在巡査として、竜江へ転任された前島拓躬氏の後を受けて、松川町上片桐駐在所より酒井平氏が赴任されました。氏は非常に温厚円満な人柄で、地区民に親しまれ乍ら地区内の安全と秩序の維持の為、その職務を円滑に遂行されるものと期待されます。

酒井巡査談　この度当地区へ赴任致して参りましたが、浅学不才の身でございますので、皆様の御協力をお願いして、完全職務を全う致し度いと思います。尚交通安全旬間は済みましたが、特に地区内の運転者、子供さん方に、絶対交通事故のない様注意して下さい。

社会部長後任に牧島君

公民館社会部長の牧内清志君が一身上の都合により辞職し後任に副部長の牧島秋雄君が就任した。

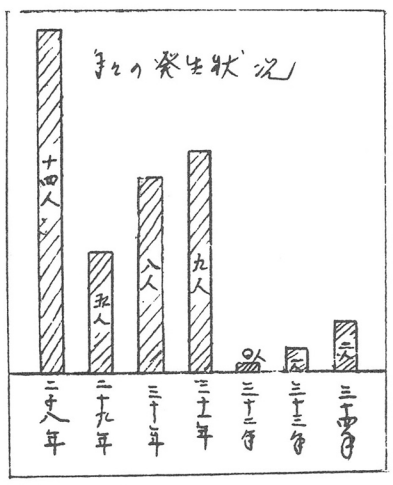
七夕の竹の処理を協議

住みよい環境を作る話合

去る二十一日の昼休みに衛生組合が主体となり公民館、婦人会、青年会、日赤奉仕団等各種団体長が集って、住み良い環境を作るため七夕の竹の始末、墓地の花立お盆の送り物、キケン物の処理などについて話合をした、このことは昨年も行って大変効果があったので続けて行きたいと思う。

どんな仕事でも役員会で決定ばしても、さて下部まで浸透するには仲々困難である、今度はこの点を考慮して各区毎に区長さんが前記団体の班長まで招集して下部に徹底するよう話合うことにした。みんなの力で住み良い環境を作るよう御協力願います。

忙がしい時期にて、お互に健康にも怠り勝ちになりますが充分の注意をお願い致します。



衛生組合先進地視察

去る十八日竜丘地区衛生組合役員三十五名と日赤奉仕団役員十四名は諏訪岡谷方面の衛生モデル地区の視察を行った。

諏訪市では市街地の和泉町を岡谷市では農林部の長地地区と小口地区を視察し付録としてヤシカ工場も見学した。いづれの地区も自主的に良く活動している様子がうかがわれ、一人々々がその気持ちになりみんなで力を合せて実行すれば、はえや蚊のいない町や村の出来るのもそう遠くはないと思った。

中絶は止めましょう

今年の四月から人工姙娠中絶は病気のために行う以外は保険の取扱いを受けることが出来なくなりました。

この中絶が母体保護上有害であることが理解されて竜丘地区では次第にその数が減って来つゝあります。やむを得ない限り中絶は行わないよう一層心掛けましょう。

人物伝 6 村長のマキ

六代、八代目村長

佐々木平四郎

明治二年一月十五日飯田町の佐々木八十平の弟に生れた。明治二十一年六月、桐林「かぢや」佐々木太一の養子となり、翌二十二年十二月同家を相続する同二十七年一月、太一の長男禄綱長女政と結婚した。（禄綱は平四郎が来る前明治十一年に亡くなっている）平四郎の生れた家は、現在の飯田市銀座かぢや呉服店であって養家とは、分家の関係に当る。

幼時はなか〳〵の腕白だったそうである。下伊那高等小学校（飯田中学校の前身）に学び後じて茶道、能、謡曲に秀で特に茶道は奥村環（前間善寺住職林雄山の兄）に師事しその奥義を究め、謡曲と共に近隣に弟子を有する程になった。急死に依り実現はしなかったが自宅に茶室を建てる計画にあったそうである。

その人となり、性格、業績等を語るについて、平四郎を深く知る下平芳太郎氏草するところの一文及び碑銘があるので、以下それを随所に引用させて頂く

「重厚ノ資寛宏ノ量而モ裡ニ剛毅ヲ蔵シ衆ニ対シテ仁慈事ニ当ッテ熱心故ニ君ノ行ク所皆司ナラザルナシ」又、墓石の碑文中には、その性格を「端正而剛直」と記されてある。体は小柄だったが、よく胆のすわった、そして物事の筋道を通す血気盛んな正義漢的なところがあったらしい。また一面、行儀作法も特に良かったということで「座作節ニカナヒ進退度アリ以テ君ノ臨ム所一座皆襟ヲ正ウセリ併モ後進ヲ導クニ懇切丁寧苟クモ徹底セズンバ止ズ」。全てスピーディな現代からすれば、少しにはまった感がないでもないが、然し折目正しい起居動作は学んでよいと思う。

明治二十八年四月村会議員当選、昭和二年四月迄在任。その間村長の職を、明治三十六年八月より四十年八月迄。一期おいて、更に四十二年十二月より大正元年十二月迄の二期勤めている。特に記憶されなければならないのは、村長として大局的な見地から村の教育の確固たる基礎を作り上げた事である。つまり桐林学校（桐林、上川路、時又、長野原）と駄科学校の統合である。「本村百年ノ大計ニ鑑ミ断然学校統一ノ意ヲ決シ之レヲ村会ニ提出スルヤ議論紛々甲是乙非ハテハ人情ノ奔ル所殺気全村ヲ被ヒ其適従スル所ヲ知ラズ君コノ間ニ在リ生死ヲ堵シテ事ニ当リ遂ニヨク快刀乱麻ヲ絶テ以テ今日ノ基ヲ開ケリ偉ナリト謂フベシ」生死を堵して、とは決して誇張ではない。その時の村会に押しかけた村民の騒ぎに、多数の警官が出動した記録は役場の公文書にちゃんと残っているし、平四郎宅にも幾人かの警官が護衛のため泊りこんだのを家人が今も記憶されている。

その他郡会議員二期半、郡参事会々員、所得税調査委員等の公職にあった。大正二年竜丘電気生産組合、大正九年竜丘生産販売組合の各々創設の際、組合長に推されている。更に学務委員、建築委員、区議等家庭を省りみるひまもない公職に在ること三十余年。晩年は、長野県信用組合連合会議員としての職にもあり、飯田へ信連の支所を設置したのも彼の尽力に依るところがあった。他に桐林商業組合（株式会社、楮、肥料等の仲介をなす）を興し組合長、政友会全国評議員等。

昭和二年四月八日、信連の会議に長野市へ出張、終了後宿舎の犀北館で狭心症のため突然亡くなった。時に五十九才。

遺体は信連配慮の特別仕立列車及び自動車で自宅に送られ、十四日村民は組合葬で以て平四郎の長年に亘る多大の功労に報いた。

× × ×

飯伊母親文庫

本を読む母親が八千人

開設三周年記念総会

去る七月五日、飯伊母親文庫の開設三周年記念総会が、飯田市中央公民館にて開かれ約五百名の会員の出席があり盛会であった。

当日午前九時半より開会、経過と実状報告（飯田図書館木下右治）があって、松沢太郎（下伊那図書館協会長・飯田図書館長）滝沢ちつる（飯田婦人文庫運営委員長）伊藤菊江（飯伊母親文庫運営委員長）三氏の挨拶があり、叶沢清介（県立長野図書館長）松井卓治（飯田市長）矢高束（飯田市公民館長）高田あき（飯田市連合婦人会長）等の祝詞があって記念式を終った。

次いで会員の「読書についての感想研究発表」が行われた。私の村の母親文庫の運営（下条・村沢寿美子）孤独の時間を（飯田橋南・福沢亨子）わが家の読書（三穂・毛涯伸子）読書雑感（竜丘・小林枝美子）部落婦人の読書会（山吹・清水とき）等で、いずれも立派な発表で、会員をよろこばした。

午後となり、文芸評論家臼井吉見先生の「文学と人間」と題する講演があった。楽しみとして読む小説と、人間の生き方を常に新しくゆすぶる真の小説との相違を、明確に位置づけて話された。

小説を十冊読むとしたら、そのうち真の小説（文学）二冊位はよまねばならない。然し小説ばかり読んでいては足りない。社会的なものと歴史的なものを是非読むことが大切だ。伝記物でもよいしに角人間が今日に至った過去の文化を振りかえってみる事が必要だ。それが新しいものの基礎になるのだという意味の話で終った。非常によい話で、聴衆に感銘を与えた。

飯伊母親文庫並に飯田婦人文庫が開設されてより、満三ケ年を迎えた。本を読むという事が、お母さん方の生活と、多少なりとも結びつくようになった。この事はあまり目立たない事であるが、実は非常に意義深いことであって、婦人の自覚を促す面から言っても、教養を広める点から見ても重要な事である。

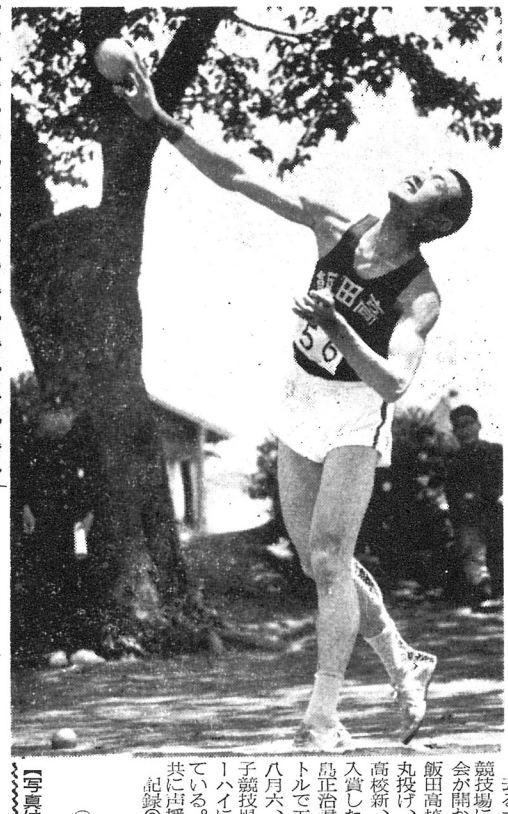
現在飯伊母親文庫に参加しているところは、高森町の山吹、市田上郷、鼎、下条、阿南町の新野、龍江、上久堅、喬木、豊丘、飯田市の座光寺、竜丘、三穂、伊賀良山本、下久堅で、約千五百グループ、六千人の会員であり、飯田婦人文庫が約五百グループ、二千人の会員で、両者を合せると、約二千グループで八千人の会員となる。

仲々本を読むという事は面倒でむづかしいものであるが、こうした組織のもとに、お母さん方の手元に、毎月一冊宛本がまわって行くからこそ、すこしでも本がよめるのである。この組織のもとに、お互に励まし合って、一冊でも多く本を読むようにしたい。本を読む事が忙しい主婦の生活の中に、結びつくよう努力したいものである。

短歌

（婦人文集草の実より抜すい）

昨夜の雪やみてすがしきこの朝の南の縁の日射しまばゆく。
淺黄に芽吹ける松を渡る風時折にして花粉を散らす。
夕立のすぎてすがしき夏雲をよぎりしひばり黒く小さし。
鐘の音は雨に余韻の混りつつ竈立ち籠めて年明けにけり。
治部坂の牧場はバスの窓に見ゆつゝじの中に群れあそぶ牛。
眠りたる吾子の小さき指先の今朝巻きやりし繃帯を解く。
桑の芽の日毎にのびて心せわし雨降る今日は布団をかゞる。
甘日間抱きし卵は今朝かえり親の羽下に鳴く声聞こゆ。
乳牛の飼料の入り来し布袋をつきぎて鶏舎の防寒にあつ。
雪のふゞく室生寺の見学終えたりという娘の便りくり返しよむ。
秋菊の蕾大きくふくらみて喜れしさ庭に日く浮きおり。
苺の花日く咲きたる傾斜畑の長き畝間の陽炎の立つ。
台風の予報に気づかう午前五時雲は走りて青白き月。
まなびにたまりし涙拭いやる病む老父の顔はむくみぬ。
松葉落ち凍てつくまゝの墓地に来て香焚く一時夫を偲びぬ。



【写真は林君の力投の一瞬】

円盤　投げも投げたり41　53M

林　青島　両君インターハイ出場権獲得

去る六月二六日新潟市白山競技場に於て陸上競技信越大会が開かれ、我が郷土の代表飯田高校林東治君（駄科）砲丸投げ、円盤投げで何れも県高校新、大会新記録で一位に入賞した。尚飯田工業高校青島正治君（時父）は八百メートルで五位に入賞し二人とも八月六、七、八日に神戸の王子競技場で開催されるインターハイに参加する事に決定している。二人の健斗を祈ると共に声援を送ろう。

記録◎林　東治　砲丸投げ　14メ17
円盤投げ　41メ41
○青島正治　八百メ　二分五秒八　35

私の意見

愛するならば叱せ　ねばならぬ

小林　誠

炎天に野良で働く百姓。か細い暮しに汗は出るが、平和な姿ではある。然し世界の動きは仲々だ、チリ地震であちこち九ツの山が火を吹いたみたいに、何か底無しの穴から不吉な煙が上るみたいにあちこちで血を見ねば治らない動揺が見え、太平洋では米・ソのロケット実験があり、大爆発すれすれの凄みをきかせて、寒け立つ様な緊張した空気がある。日本国内にしても最初は小さい問題で話せば分ると思っていた安保や三池争議等が案外根が深くして、法律や政治以前の様な性格をもっているには驚く。安保にしてもすでに批准の済んだ今尚、社会党はこれを否定不承認の宣言をしている。最初は審議不充分として怒ったが、結局審議会での論争点など遠く小さく流れ去って、実は審議無用的な最初からの反対だ。警官導入も決定的理由ではなく、必然的な一つの経過だった。飽くまで実力妨阻で議長軟禁の様な事をやれば警官導入しない方がおかしい。それだからとて、相手党に無理心中をしかけ。自ら議員総辞職をきめて津波対策の審議もせず暴力革命前夜に通じる様なジェネストを支持し、友好百年記念にとこちらから招いた米大統領をも追い返すとあっては、夫婦喧嘩の果お客さんを追い出し、子供を怪我をさせ、兇器でお門ちがいに近所に立ち向うヒスのおかみさんよろしくだ。効果てき面、忽ち養蚕の繭は二百円以上安くなり、アンゴラの毛も半値。竜丘だけでも大変だが日本全体の流れ去って、実は審議無用的な最各方面の損失は実に莫大である。

アンゴラの毛も半値。

竜丘だけでも大変だが日本全体の流れ去って、実は審議無用的な最各方面の損失は実に莫大である。

事同盟をば例へ何国と雖も結ぶ供。いかに防衛的なものであっても自衛隊をつかいたいのだが、やっても負けると知っているので、米国に口をきいて欲しかったり、貧乏故の三池争議一つを自国内ですらまとめれずに血を流しかねない様なざまでい乍ら、「私は平和理想で中立します」と云っても通らない。一体日本人は戦争に負けて、支持しないであろう。尚且つソ連はアメリカ側からは離れて、自由中立になる事をすゝめ乍らソガリーや南鮮を見ていないのだろうか。ハンガリーや南鮮を見ていないのだろうか。自分の力をも計らず人をも知らずに竹槍で原爆に向って行って焦土の真中で軍部に騙された、馬鹿大皇めと泣いていた十才児。マックアーサーは日本人を十一才児と、採点したが今度という今度こそ、日本はまだまだ十才児とみられた。その云う所、考える所の単純さ。理想は一足跳びに跳ぶことは出来ぬ、現実の地に一歩こそ本物なのだ。労働組合にしても自分の立場だけを主張して、限界なしに政治にまでかかる事はゆるされない筈だ。軍隊がその組織を政治にからんではならんと同じである。どうもそれの区別が分っていない。紙面がゆるさぬが社会党に入り、するなら叱せねばならぬ。

自由中立になる事を許していないのだ。一体平和中立と云う事は時として戦争するよりもっと強い力がいり、又戦争するよりもっと高くつく犠牲を払っても尚守り抜こうと云う様な決心があってこそ出来る事であろう。宰承晩ライン一つにも困って、実は海上運側についている国に対しては、多くが必ずしも安保賛成ではなかったのは何によるのであるか。安保反対の論拠は要するに、「平和憲法の理想通り、戦争に通じる軍

あの人　この人

永遠に幸あれ

（塩沢　美里）中島　澄夫　桐林　川路村へ
（小林　彦穂）山下富貴子　長野原　下久堅より
（福与　成子）藤山　竜三　時父　東京都へ
（沢柳　秀男）渡辺　竹子　駄科　東京都へ
（堤　慶子）坪井　昇　駄科　鼎町より
（下田　幸二）河上　範子　時父　下条より
（桐生　健）菅沼美代子　長野原　竜江村より
（中田　美稲）林　良一　桐林　岡谷市へ
（下平　毅）三石せつ子　桐林　竜江村より
（平沢　松雄）吉沢　勝子　時父　三穂より
（林　直人）熊谷　知子　桐林　下条より
（下平　修子）松元　健　桐林　大阪府へ
（関島　吉一）山田ミサ子　駄科　群馬県より
（北沢　キミ）武藤　勇夫　駄科　岐阜県へ
（清水　清子）西山　史郎　上川路　三重県へ
（林　信一）西松　朝子　桐林　京都市へ
（下井田喜久）田中　耕平　長野原　東京都へ
（伊藤　千鶴）小林　久男　時父　高森町へ
（代田　富二）山下　幸子　時父　下久堅より
（福沢　弘美）今村　美子　豊丘村へ　時父

伸びよ健やかに

氏名	父名	性別	部落名
関島　良子	稔	女	駄科
市瀬恵美子	武	〃	〃
下平　信彦	稔	男	桐林
塩沢　志穂	正敏	女	〃
小林　文子	雅文	〃	駄科
塩沢　和子	善三	〃	〃
塩沢　幸博	昭司	男	桐林
小林　岳	次郎	〃	時父
北沢　仁美	清司	女	〃
後藤　一徳	鎌治	男	駄科
小池　和治	忠志	〃	長野原
中島みや子	一美	女	桐林
下平ちづ子	明朗	女	駄科
上松　文招	孝善	男	〃
伊藤　章夫	忠雄	男	時父
前沢　文彦	潤一郎	男	長野原
代田　明美	福一	女	駄科
原　直樹	道夫	男	桐林
中島　正寿	正文	男	〃

御冥福を祈る

氏名	年令	性別	部落名
小林金左衛門	六三	男	長野原
森　みきよ	七七	女	上川路
塩沢　幸博	○	男	桐林
下平　多勢	四六	女	駄科
下平　健雄	七六	男	〃
小林つたゑ	六五	女	上川路
伊原　いさ	八一	女	時父
熊谷　佐一	六八	男	駄科
原　こと	七五	女	桐林
塚平　勝一	四九	男	上川路

編集後記

◎ますはじめに計画倒れの続出で発行がおくれたことをおわび申上げます。今号は六、七の二ケ月合併と相成った次第、その間に世の中の動きのはげしかったこと。安保、アンポで終始し農業委員の選挙でひとしきりさわがしかった地区も、夏蚕を迎えて又、炎天のもとで油汗を流す時がしばらくつゞくのか。法人の問題、「楽で金もうけの出来る農業」を夢みて一面トップとした一人一人の百姓が孤軍奮闘して一人で悦に入る時代はすきたものかいやにむし暑く皐天が続く、水不足が思いやられる。

ごめんなんしょ

▼環境衛生が叫ばれだして数年たった。蚊やはえは少くなったか？その効めは中共ほどではないような気がする、だがこれ以上少なくする努力が必要だ。

▼竜丘東北部の農作物がこの四月より異常の対称にならない疲害を受けるらしい原因は道なき道をとまでは行かないが、直線コースには若干の無理がある、中学校はでき上り、次は道だ、そうして何とかしたい。▼竜丘中学校々舎のか衛生組合一寸考えてみなで来ないのだろうか、安保が大切なのだが会員減少によってこれが出景をみる。青年会で片付けていたところがこの程キケン箱に入りきらんキケン物がちらばっている光

▼竜丘東北部の農作物がこの四月より異常の対称にならない疲害を受けるらしい原因は道なき道をとまでは行かないが、直線コースには若干の無理がある、中学校はでき上り、次は道だ、そうして

盆の野球大会

常会対抗で八月十五日開催

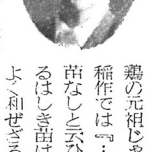
恒例のお盆の野球大会を今年は各常会チームの分館代表により、八月十五日竜丘小学校々庭に於て開催されます。今各分館ではその予選大会が行われ出場チームが決定されつゝあります。

この大会に出場するチーム数は駄科二、長野原一、桐林二、時父二、上川路一の計八チームが出場し酷暑の中で熱戦がくりひろげられるわけである。

救えだ。

随想リレー

77回



農法

林　桐　中島兼義

元禄十年に公刊された宮崎安貞著「農業全書」という本がありますが、それは『唯我土民を友として農事に精ふ事年あり。父世の農民の其御委しからざるゆへ力を尽して農業をいとなむといへども、其功すくなく、其利を得たき事をもって』農民を救わんと書かれた農術の本です。

今日、いろいろの農業技術に関する本が出版されていますが、根本的には農業全書と同じである点興味がわきますその総論に『耕作第一。犁き耕すことは農事の第一の仕立にて、其余の計事皆耕して後のことなれば、専ら耕しに心を用ゆべし。』『種子第二。五穀にかぎらず万づの物たねをならぶ事肝要なり。是生物の根源にて、即ち生理長中にある事なれば慎しんで大切にすべきことなり。』「土地を見る法第三。其利分を考へ、勝手のよき相応の物を作らされば妄りに人の力を尽しても利潤を得る事少し。』という部合に『時節』『勧芸』『糞（こえ）』『水利』『穫収』について記し、第九として『蓄積付倹約。夫農家にかぎりて富める者はまれにして、貧しきものはおほし。かねてより財穀を蓄へざれば凶年にあひて飢をまねかれ難し。』とあり、さらに富まんとするならば五狩（し）を飼うこと『五狩は牛・馬・猪・羊・鸚是なり』で今なら有蓄農業のことですもっとも農業全書は支那の農書を手本にしていますので、鸚馬というものは日本にはもともといない。今の耕馬の類がこれに当るといっています。酪農についてはぜんぜん見当りませんが、ゆかいなことに鶏を飼うことをすすめています。『戸口を小さくしたる小屋を作り、其中に塒（とや）を数多く作り、高下それぞれ心に叶ふべし』『階層養鶏で卵を取りなさいとすゝめています。これが五十羽養鶏の元祖じゃないかと思います。稲作では『…農書に大塊の間に秀苗なしと云ひてあらき塊の間にうるはしき苗は生立たぬものなり土よく和ぜざるゆへなり春より度々鋤かやし干しをきたるに、糞を入れ鋤おほひ、よくかきたきうへしほになりて前方に水をしかけかきならし……』ておくこと十五日して『黒くなりてこほひある時苗をさすべしとなり。』といった調子に、十九の『穀之類』『二十六の』『菜之類』十八の『田野菜之類』『二十二の』『草木之類』十六の『諸木之類』『二十五の』『生類養法・薬種類』と『附録』からなる岩波文庫で三七六頁の農書です。附録には『農家に粉麦を養し、物を貴う事多し、取分き定まりて費の多きは茶とはここに過ぐる物なし。されど何とぞ此費止めたらば農家の富となるべし。』と倹約を強く説いていますが、現代の農家生活とあまり、ちがわないのではないでしょうか。

事実農民は勤労と倹約を尊び、自然にしたがって生きることに幸福の光を求めてきたと思いますしその原型を遠く万葉の世にみることができます。私の隨想いたしますことは、ほんとに農民が幸福になるにはどうしたらよいかということです。農業全書で学びとった農民の富は、どっそり領主に取られてしまったではありませんかそして日本の近代産業はこの農民を基盤に発展してきている政治（まつりごと）は農業から始ったと言われます。私達がほんと幸福になる鍵は私達の手中にあると思うのです。

最近聞きます農業法人、共同化のことも、農民みんなで考えなくてはならないことでしょう。

バーで一杯やることも、楽しいことですが、『明日は明日の風が吹く。』などと呑気なことを言ってはいられません。

ぐっすり寝る時間さえない農繁期ですから、みなさん、お体に気をつけてお働き下さい。

次のバトンを駄科の吉川たけさんに御願いします。